

協働の機会提案書(新規提案用)

印西市長

様

2017 年 7 月 25 日

(登録者) 登録番号 28 — 003

名 称 エンディングサポート「風」

所在地 印西市木刈

代表者職氏名 山口 万理子

㊞

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	高齢者支援の為にエンディングノートの作成と配布
現状・課題 (指定テーマ型の場合はテーマ名のみ記入)	少子高齢化、核家族化、単身世帯の増大は、間もなく迎える 2025 年問題を前に、単に個人の問題に留まらず、社会全体の喫緊の課題としてその対応が求められている。既に多くの市町村が、高齢者支援対策として様々な取り組みを始めているおり、印西市も、現在、市の人口の 20%以上を占める 65 歳以上の人々が、2040 年には 35%と予想され、その支援対策の充実の必要性が高まっている。
提案理由	高齢者支援には健康管理、介護、生活支援、生きがいづくりなど多岐に渡るが、高齢者の方々が元気な時に自分自身の「これまで」「これから」を見つめなおし、認知症や言語障害あるいは突然死など不測の事態に備え、意思表示の記録として活用できるものが必要と考える。又、このノートを基に家族とのコミュニケーションが生まれ、関係を確認するきっかけとなる事を希望する。他の自治体でもそれぞれが抱える背景を基に、独自の支援事業を開始しており、エンディングノート作成も各地で実施、配布されている。
提案内容 (予算の概算も記入)	エンディングノートには、万一の場合に備えての希望や要望の他、大切な人家族への感謝など想いを伝える個人に関する部分と、行政サービスの担当部署や各種団体の連絡先や利用法とを分かり易く記載する事で市民に安心感が得られるような内容とする。作成されたノートは、高齢者を対象に無料配布する。市には関連支援情報の提供をお願いしたいので、担当部署と連携して相談し乍ら進めていきたい。
貴団体の特性、協働で 実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)	当会はエンディングに関連した講演会、学習会、見学会等の実績やエンディングノートの作成及び講習も経験があり、直接に市民の意見や希望に接する機会も多かった事から、市民目線での作成に副う事が出来ると考える。その当会が培ってきた経験とノウハウを市へ提供する事が可能である。又、配布後もノートの書き方講習会を定期的開催する等、エンディングノート活用推進にも協力体制がとれる。
事業実施により 得られる効果 (自由提案型は 今後の展望も記入)	エンディングノートはこれまでの人生を振り返り、整理する事により今後の人生で、何をなすべきかを考えるきっかけになる。また、万一の場合に備えて伝えておくべき情報やメッセージは、残された家族の負担軽減のみならず、『おひとり様』の意思表示のツールとして行政のサポートに大きな手助けとなると考えられる。最後は皆おひとり様、思いやり支え合う地域の福祉活動推進に貢献出来れば幸いである。